

第18回図書館総合展フォーラム

“良い図書館を良いと言う”

Library of the Year 2016

2016年11月9日(水) 15:30~17:00

パシフィコ横浜 第18回図書館総合展 展示会場内

お問合せ: info@iri-net.org

概要: <http://www.iri-net.org/loy/loy2016.html>

Twitter: #LoY2016

Library of the Year とは

Library of the Year(LoY)は、NPO法人 知的資源イニシアティブ(IRI)のLoYの選考を担当する委員会(LoY2016選考委員長:IRI理事山崎博樹)が中心となり、図書館など全国の知的情報資源に関わる機関を対象として授与する賞で、2006年に始まりました。

選考基準は以下のとおりです。全国の公共図書館を総合的に評価して、ベストの図書館を決めるものではありません。

1. 図書館及びそれに準ずる施設・機関における他の図書館の参考となる先進的な取り組みや活動について評価し選考する。
2. 対象となる機関は、公立図書館、大学図書館、専門図書館、学校図書館、図書館団体、図書館関連企業など。
3. ここ数年の活動を評価対象期間とする。※ 施設や機関の規模の大小は問わない。
※なお、LoY2016から新設された「ライブラリシップ賞」の選考基準については、別途記載します。

開催概要

2016年11月9日(水)15:30~17:00 パシフィコ横浜(横浜市みなとみらい)にて、今回決定した優秀賞4機関を対象とした最終選考を公開いたします。最終選考会では各機関についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを経て、審査員5名の投票によって対象を決定します。その後、大賞、優秀賞およびLibrary of the Year2016より新設したライブラリシップ賞、会場票(事前投票含む)が一番多かった機関に授与するオーディエンス賞の表彰式を行います。

Library of the Year 2015 大賞 多治見市図書館様のコメント(IRI HPより抜粋)

「司書が足で稼ぐ」という地道な活動を評価して頂けたことを職員一同大変嬉しく思っております。最終選考会でプレゼンターの小嶋智美さんは、そんな私たちのまちの魅力と図書館の取り組みについて大変深い愛情をもってご紹介くださいました。取材を重ねるうちに多治見が大好きになったというお言葉や、スライドの中でご紹介くださったまちの生の声は、わたしたちにとって何よりも励みとなりました。ありがとうございます。

IRI Intellectual
Resources
Initiative

<http://www.iri-net.org/>
info@iri-net.org

Library of the Year2016 選考について

選考過程及び選考委員などについては、次の通りです。

1. 選考過程

- 2016年
2月 IRI内部にてLoY2016開催 検討開始
- 4月 IRI理事会にてLoY2016の開催決定、選考委員の決定(計14名)
- 5月24日 IRI総会にてLoY2016開催承認
同日 第1回LoY2016選考委員会開催
- 6月～ 協賛企業へのお祝い開始
6月 9日 一般公募開始(IRI_HPIにて) ※締め切り7月15日 ※18機関の応募・推薦あり
6月21日 第2回LoY2016選考委員会開催
- 7月20日 クラウドファンディング(READYFOR)による開催資金集め開始 ※締め切り9月30日
56人からの支援あり。支援金合計281,000円
- 7月30日 第3回LoY2016選考委員会(一次選考会)開催。二次選考会に進む18機関決定。
- 8月16日 第一次選考会の結果公表(IRI_HPIにて)
8月18日 第4回LoY2016選考委員会(二次選考会)開催。 ※選考委員の推薦35機関
優秀賞4機関、ライブラリアンシップ賞2機関決定
- 8月25日 第二次選考会の結果公表。プレスリリース掲載。(共にIRI_HPIにて)
- 9月 8日 第二次選考会の議事録公表(IRI_HPIにて)
- 11月9日 最終選考会 大賞およびオーディエンス賞決定!



Library of the Year
オリジナルエコバック

2. 一次選考通過機関

LoY選考委員および外部推薦で寄せられた53施設・団体・サービスの中から、下記の18機関が一次選考を通過しました。
※順不同、一般からの推薦があった館には(*)をつけています。

<公共図書館>

- ・オガールプロジェクトと一体での紫波町図書館
- ・津島市立図書館
- ・北摂アーカイブス(大阪:豊中市立図書館、箕面市立図書館)
- ・伊丹市立図書館ことば蔵(*)
- ・READ & LEAD 地域の活性化と住民の幸せに貢献する鳥取県立図書館と県内図書館ネットワーク(*)
- ・福智町立図書館・歴史資料館 ふくちのち
- ・大牟田市立図書館
- ・伊万里市民図書館と伊万里市民図書館友の会 図書館フレンズいまり(*)
- ・指宿市立図書館

<学校図書館>

- ・東成瀬村読書振興(小学校図書館)
- ・東京学芸大学学校図書館運営専門委員会
- ・神奈川県立田奈高等学校図書館ぴっかりカフェ

<大学図書館>

- ・筑波大学「近未来図書館シリーズ」
- ・立正大学古書資料館(*)
- ・武庫川女子大学附属図書館

<専門図書館>

- ・公益財団法人 松竹大谷図書館(筑波大学宇陀・松村研究室)(*)
- ・大阪産業労働史料館(エル・ライブラリー)
- ・BIZCOLI

3. 選考委員

選考委員会は、以下14名で構成されました。
※敬称略、順不同 ◎は選考委員長

- 山崎博樹(秋田県図書館協会) ◎
- 岡本真(ARG) / 平賀研也(県立長野図書館)
- 小林隆志(鳥取県立図書館) / 熊谷雅子(多治見市図書館)
- 岡野裕行(皇學館大学) / 澁田勝(獨協大学)
- 猪谷千香(文筆業) / 谷合佳代子(エル・ライブラリー)
- 内野安彦(同志社大学他) / 井上昌彦(関西学院大学)
- 仁上幸治(図書館サービス計画研究所)
- 桂まに子(京都女子大学) / 今井福司(白百合女子大学)

4. 最終選考会 審査員

最終選考会審査員は、以下5名で構成されます。
※敬称略、順不同

- 平賀研也(県立長野図書館)
- 岡野裕行(皇學館大学)
- 澁田勝(獨協大学)
- 猪谷千香(文筆業)
- 桂まに子(京都女子大学)

※審査員討論会の司会進行
LoY2016選考委員長 山崎 博樹

5. 大賞およびオーディエンス賞選考方法

・LoY2016大賞

優秀賞受賞各機関のプレゼンテーションの後、最終選考会審査員5名による審査討論を経て、各審査員が投票用紙に大賞にふさわしい機関名を記入投票。得票数が一番多い機関に大賞を授与。

※同票の場合は、審査委員長にて決定。

・LoY2016オーディエンス賞

クラウドファンディングの支援者による事前投票結果(事前に事務局にて集計)及び最終選考会会場参加者による得票数が一番多い機関にオーディエンス賞を授与。

2016年は、IRIメンバーおよび外部推薦で寄せられた53機関(施設・団体・サービス)の中から、18機関が一次選考を通過、二次選考で下記の4機関が優秀賞に選ばれ、大賞の最終選考対象となりました。また、会場票(事前投票含む)が一番多い機関には「オーディエンス賞」が授与されます。記載は、プレゼンテーション順。(一般からの推薦があった機関には*をつけています。)

伊丹市立図書館ことば蔵*

プレゼンター: 若狭 健作(交流フロア運営会議参加者)

【受賞理由】図書館において、学びや遊びに関する創造的な活動を市民と共に実践している点を評価。
 【推薦詳細】「交流フロア運営会議」を設置し、市民と共に企画を実現した。市内書店と協力した「帯ワングランプリ」、地元商店主が講師となる「まちゼミ」、本を使った婚活や本のタイトルだけで作家を目指す企画等、様々なイベントにより来館者も増加し、経済効果を生み出した。



東京学芸大学学校 図書館運営専門委員会

プレゼンター: 今井 福司(白百合女子大学基礎教育センター)

【受賞理由】「学校図書館活用データベース」の継続的構築、学校を開き、知の共有の場を創成している点を評価。
 【推薦詳細】「先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース」を構築。学校図書館での授業実践事例や実践例等を、収集し公開している。外からは見えにくい学校図書館の活動を、対外的に明らかにしている取り組みを継続して行っている。



オガールプロジェクトと一体での 紫波町図書館

プレゼンター: 手塚 美希、藤原 幸恵、藤澤 圭
(紫波町図書館司書)

【受賞理由】様々な連携を通じて、地域活性化の中核的な役割として図書館が機能している点を評価。
 【推薦詳細】真のPPPといえるオガールプロジェクトで図書館という仕組みに注目し、その期待に応えた図書館職員の働きを評価。農業支援やオガールとの連携により、地域全体を活性化し、全国から視察が絶えない。入館数も20万人を超えている。



大阪産業労働資料館 (エル・ライブラリー)

プレゼンター: 谷合 佳代子(エル・ライブラリー)

【受賞理由】地域における公共的活動拠点として開かれ、広範囲な人々が支えている点を評価。
 【推薦詳細】日本で最もMLA融合を実践するライブラリー。図書だけでなく、労働組合資料、工具、ゲバ棒から椅子まで、日本でここにしかない貴重な博物資料を収集・提供する。全国のサポーターから支援を受けることで、公費によらない運営を実現していることは、一つのロールモデルにもなっている。



「ライブラリアンシップ賞」とは、長年にわたって地域住民や図書館員が協同し、さまざまな図書館活動を継続的に行った図書館等を称えるため、今年度創設した賞です。ここで言うライブラリアンとは、図書館員グループおよび地域住民の総体を示しています。長期にわたって日本を代表する優れた図書館サービスを、館種を超えた図書館や地域住民と共にやってきたことを評価するものです。

(以下両機関とも、一般からも推薦がありました。)

伊万里市民図書館と 伊万里市民図書館友の会 図書館フレンズいまり

【受賞理由】

20年間にわたり、市民と共に優れた図書館運営とサービスを提供した点を評価。

【推薦詳細】

伊万里市民図書館は、その設置・建設の過程より市民参加によりつくり、運営されている。公共図書館が、自治体によるサービス提供と住民のサービス享受という関係にとどまることなく、公共運営の本義である団体自治と住民自治の融合により存続する事業体であることを20年間にわたり示し続けていることを特に評価した。



READ&LEAD 地域の活性化と住民の幸せに貢献する 鳥取県立図書館と県内図書館ネットワーク

【受賞理由】

県内および全国の図書館と密なネットワークを構築し、知のインフラを体現した点を評価。

【推薦詳細】

鳥取県立図書館は、ビジネス支援サービスや県内公共図書館・学校図書館との連携ネットワークの構築による社会全体の知的基盤整備に努め、「地域の役に立つ図書館」というこれからの図書館像を確立し、リードしてきた。これからの図書館のあり方に対する、10年間にわたる課題提起および貢献を特に評価した。



Library of the Y2016(新LoY)について

新LoYでは、公共的な取り組みだけでなく、他の図書館にとって参考になる優れた活動や、独創的で意欲的に取り組んでいる具体的な事例を評価し、広く知らしめることを目的としました。従って、公共図書館だけでなく、学校図書館、大学図書館、専門図書館などの活動も選考の対象といたしました。

・対象となる館種も考慮しつつ、選考過程の可視化、優秀賞の設定の仕方、会場票の重視等いくつかの改善を行い実施いたしました。

新LoYについて、ぜひご意見をお寄せください。

LoY2016は、次の企業から協賛をいただいています。ありがとうございました。

h KIHARA キハラ株式会社

FUJITSU 富士通システムズアプリケーション&サポート